

知ってる？

きのこのつくり

きのこは植物でも動物でもなく、菌類の仲間です。
ひとことでは語りきれない不思議な生態にせまります。

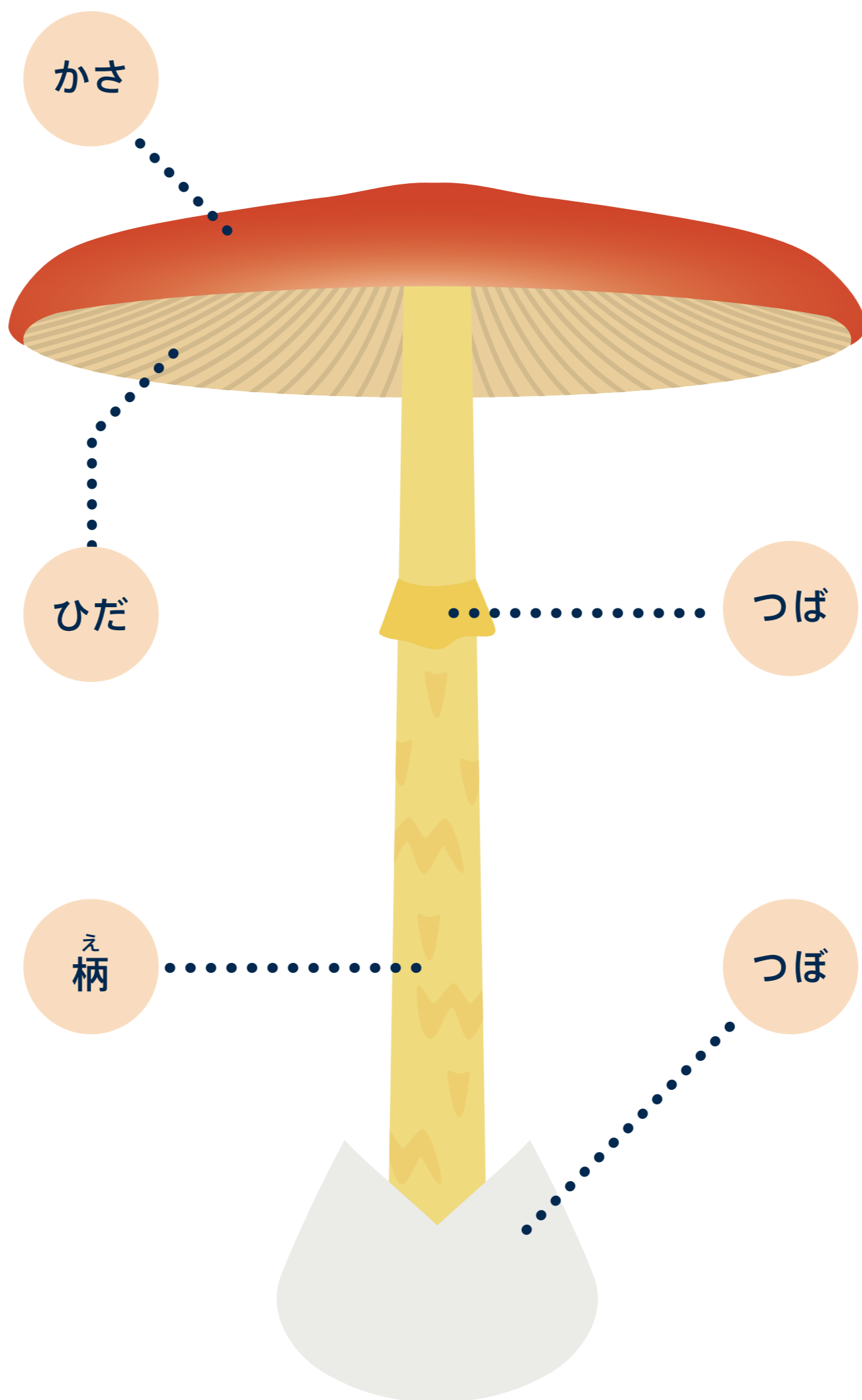
そもそもきのこって？

きのこは、植物の花のように菌類が子孫を残すために胞子(ほうし)を作る器官です。普段は、木や地中に張り巡らされた菌糸(きんし)の状態です。

出始めのきのこ



つぼやかさを丸めた状態で地面から顔を出します。



かさの役割

かさは胞子が雨で濡れないように守っています。また、かさの形が揚力(ようりょく)を生み出し、少しの風でも胞子を遠くに飛ばす効果があります。

胞子の大きさ

0.01mm~0.03mmと小さく、きのこによって色も形も様々です。とても小さいため風に乗って、世界中に胞子をまき散らしています。

タマゴタケ

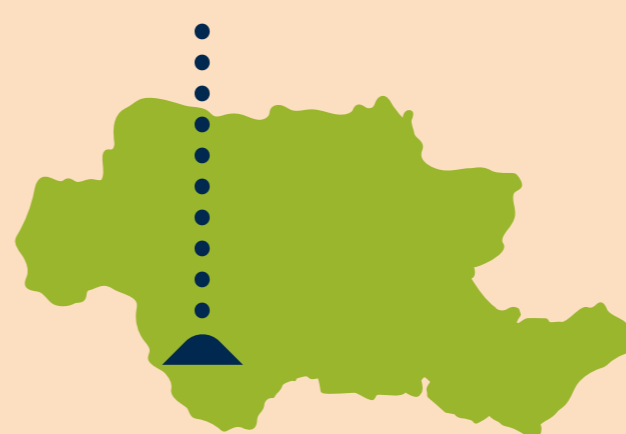
学名 : *Amanita caesareoides*
英名 : slender caesar

高尾山のきのこ

高尾山はきのこの宝庫!?

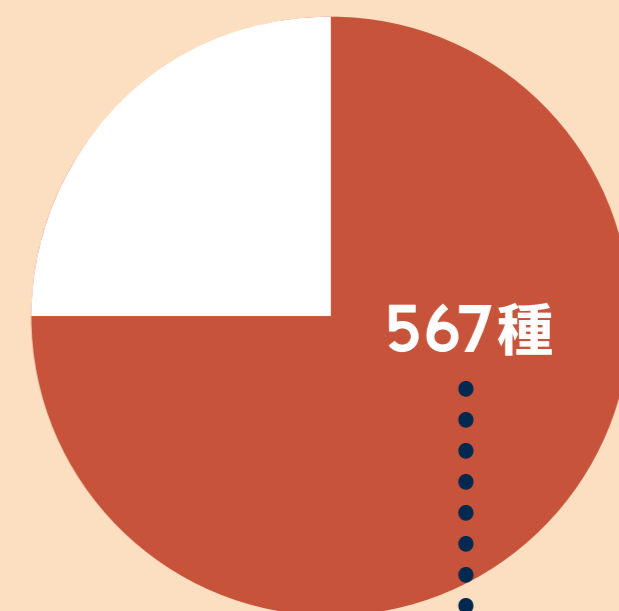
高尾山はきのこの宝庫として有名で、イグチ科やテングタケ科などたくさんのきのこが見られます。きのこは特定の植物群に関係することが多く、植生の豊かな高尾山ではさまざまな種類のきのこが確認されています。その中には名前が付いていないきのこもたくさんあります。

八王子市で発見されたきのこのうち、高尾山から75.2%が記録されています。



出典 : 八王子市, 新八王子市史自然調査報告書 八王子市動植物目録, (2016)

八王子市で発見されたきのこ 754種



高尾山で発見されたきのこ

こうして増える！

きのこのこの一生

他の生き物と関わり合いながら森を育てるきのこ。
きのこの子孫の残し方や自然界での生態を見てみましょう。

きのこの増え方

トリュフのように地中からおいでひきつけるきのこもあります。

風や雨で広がる



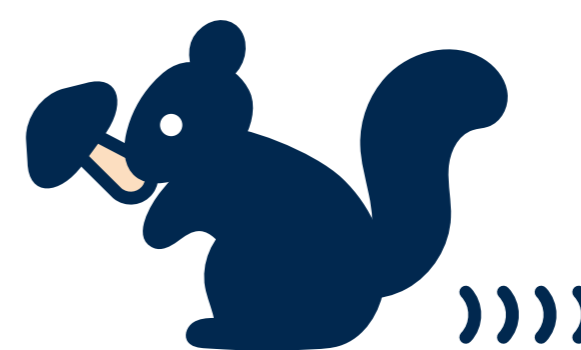
きのこが成熟すると、風や雨の力により胞子を遠くに飛ばします。

溶けて流れる



ヒトヨタケの仲間にはかさを広げると、一晩で溶けて周囲に胞子をまくものもあります。

運んでもらう



動物に食べてもらいフンとして出されることにより、胞子を広がります。

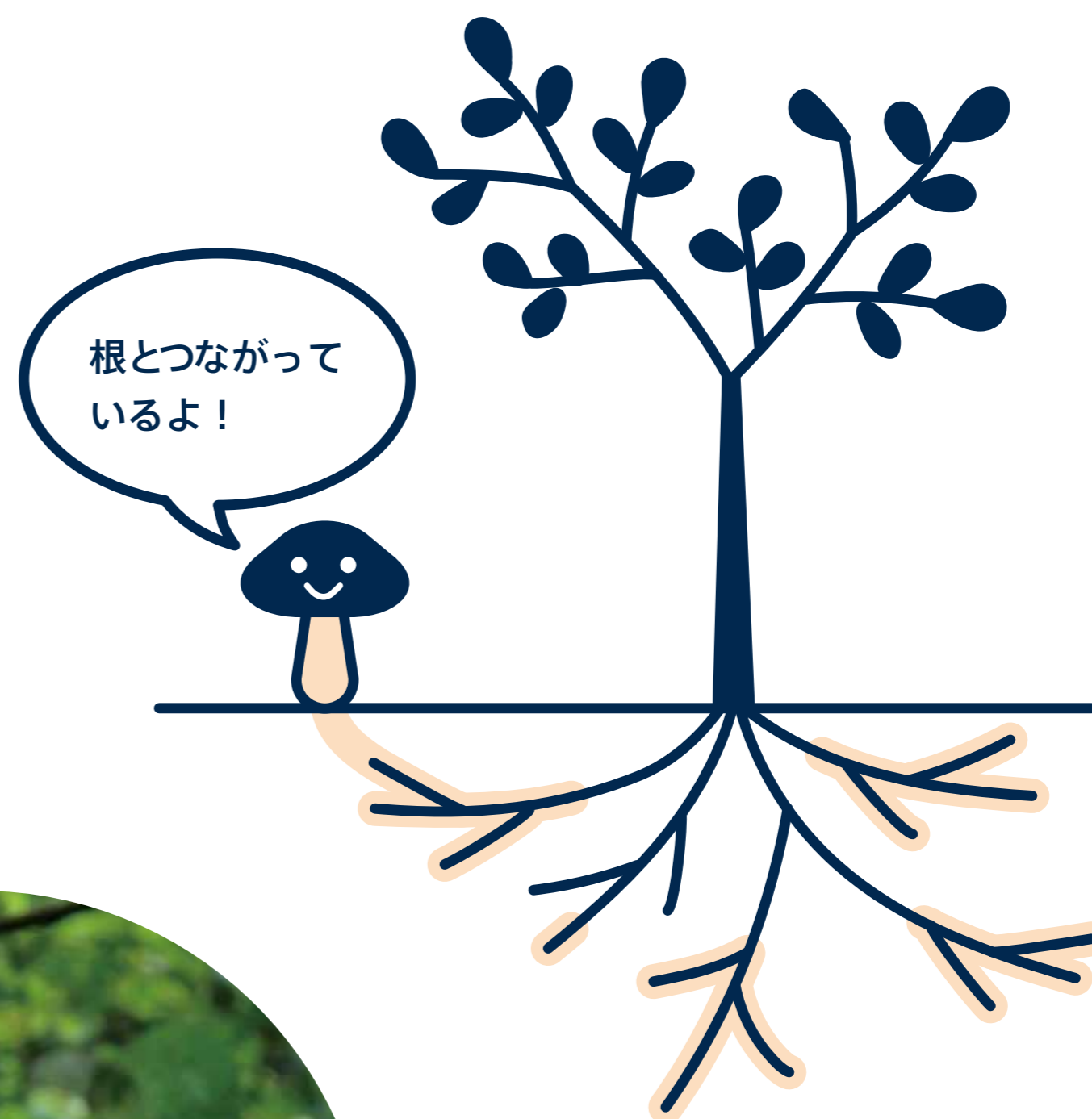
きのこの生態



樹木とともに生きる

植物と養分を交換しているきのこがあります。菌糸の先端の菌根(きんこん)と植物の根が結びついています。

..... 樹木の根とつながる
ガンタケ



森のそうじ屋さん

きのこは枯れ木や落ち葉を分解できます。木以外にも生き物の死骸やフンなどを分解し、土にかえす助けとなります。



..... 落ち葉から生える
ハナオチバタケ

秋にみられる

高尾山のきのこたち

高尾山にはさまざまな色・形・大きさの魅力的なきのこが生えます。

ここではほんの一部をご紹介します！



＼美しくも、はかない…／ キツネノハナガサ

少しの刺激で壊れてしまう繊細なきのこ。きれいな状態を見るなら雨上がりの1号路がおすすめです。



出始めは黄色い
マッチ棒



ひだは
スポンジ状



＼ひだが特徴的！／ ミヤマベニイグチ

イグチ科のきのこはひだがスポンジ状になるものが多いです。細かくひび割れた赤色のかさが目立ちます。

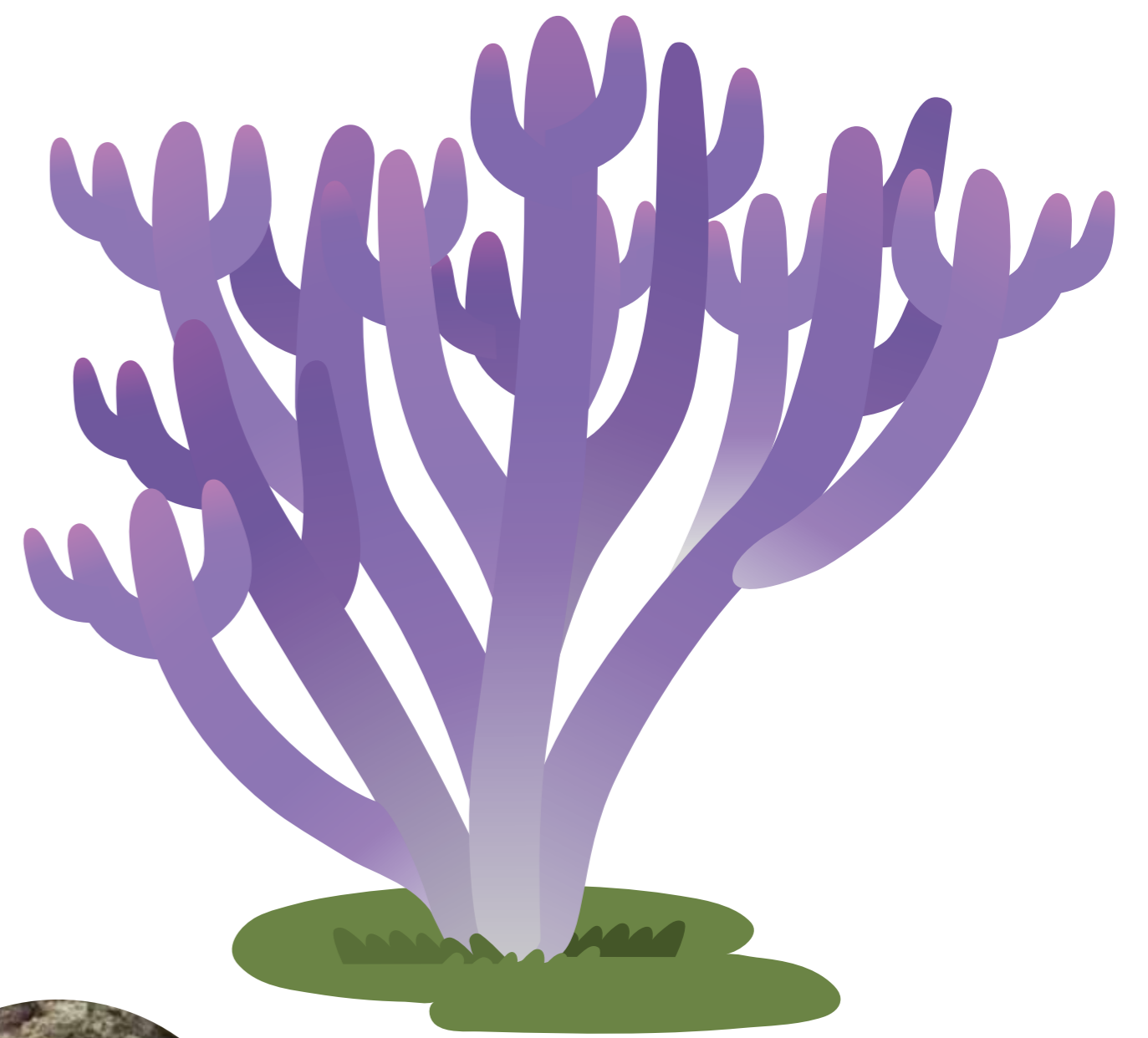


枝分かれ部分の表面から
胞子を飛ばす



＼まるで森のサンゴ／ ムラサキホウキタケ

きのこらしい形をしていませんが、れっきとしたきのこ。この仲間にも、赤色や黄色、白色などのものがあります。

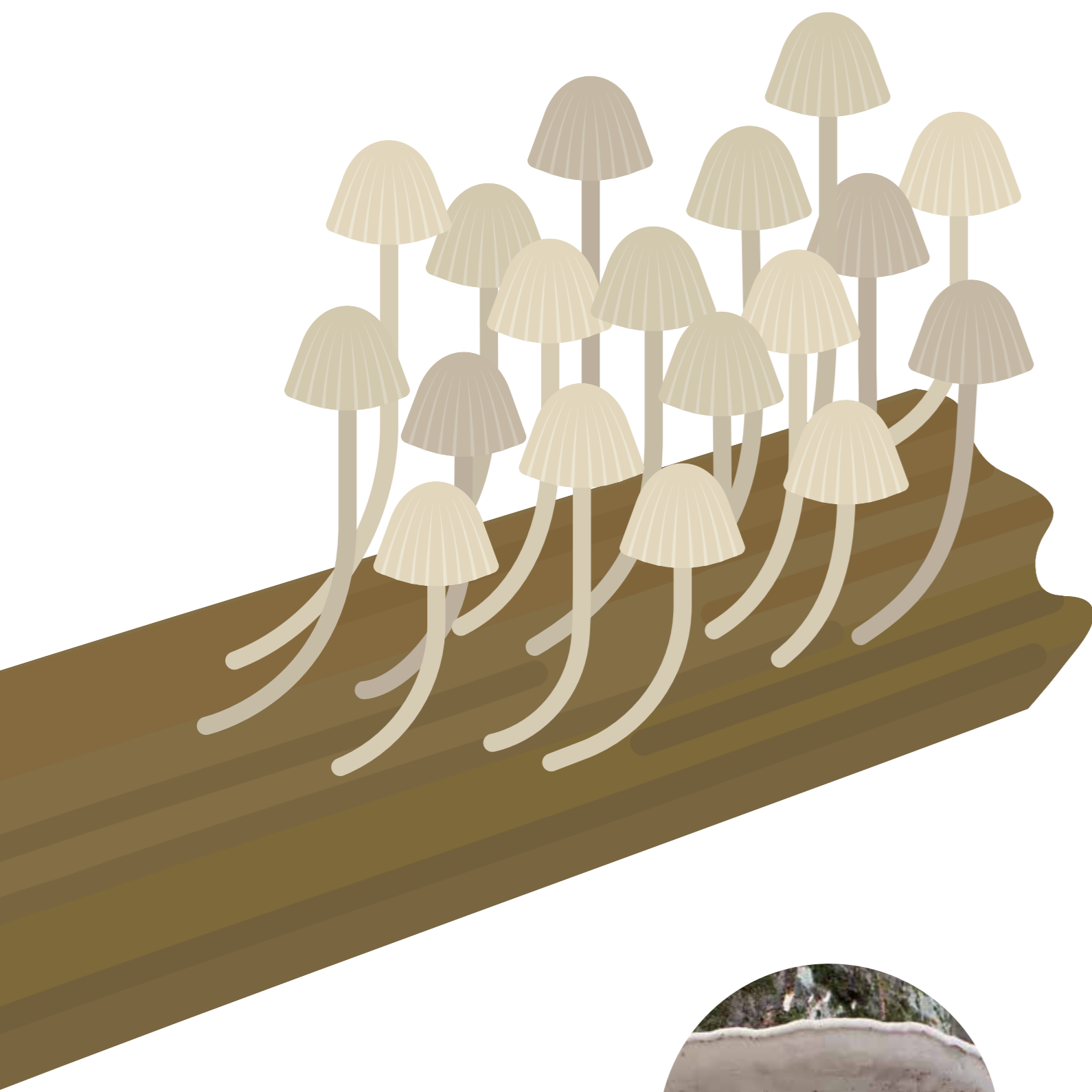


卵のような状態から
成長します

＼鮮やかで目立つ！／ タマゴタケ

ブナやモミなどがある環境に生えるきのこ。秋によく目立ち、山内で見つけやすいきのこのひとつです。





＼まるで1000本!?! / イヌセンボンタケ

小さなきのこが集まって生える姿は圧巻!ひとつひとつは小さいですが、よく目立ちます。

出始めは輝く
幼菌の幅、約7mm



裏は真っ白



＼硬いきのこ登場! / コフキサルノコシカケ

茶色い胞子を大量に飛ばし、周辺を茶色く変色させることがあります。巨大になることがあります。

〇〇と生きるきのこ



＼コケと共生 / ヒメコガサ

まばらに生えることが多く、コケの観察時にみつけることがよくあります。高さ2~4cm。



＼^{りょくそう}緑藻と共生 / シラウオタケ

夏~秋に枯れ木についた藻類(そうるい)から生える小さなきのこ。高さ1~2cm。

＼さなぎに寄生 / ハナサナギタケ

ガのさなぎに寄生します。さなぎのいる地面や巻かれた葉から生えます。高さ1~4cm。



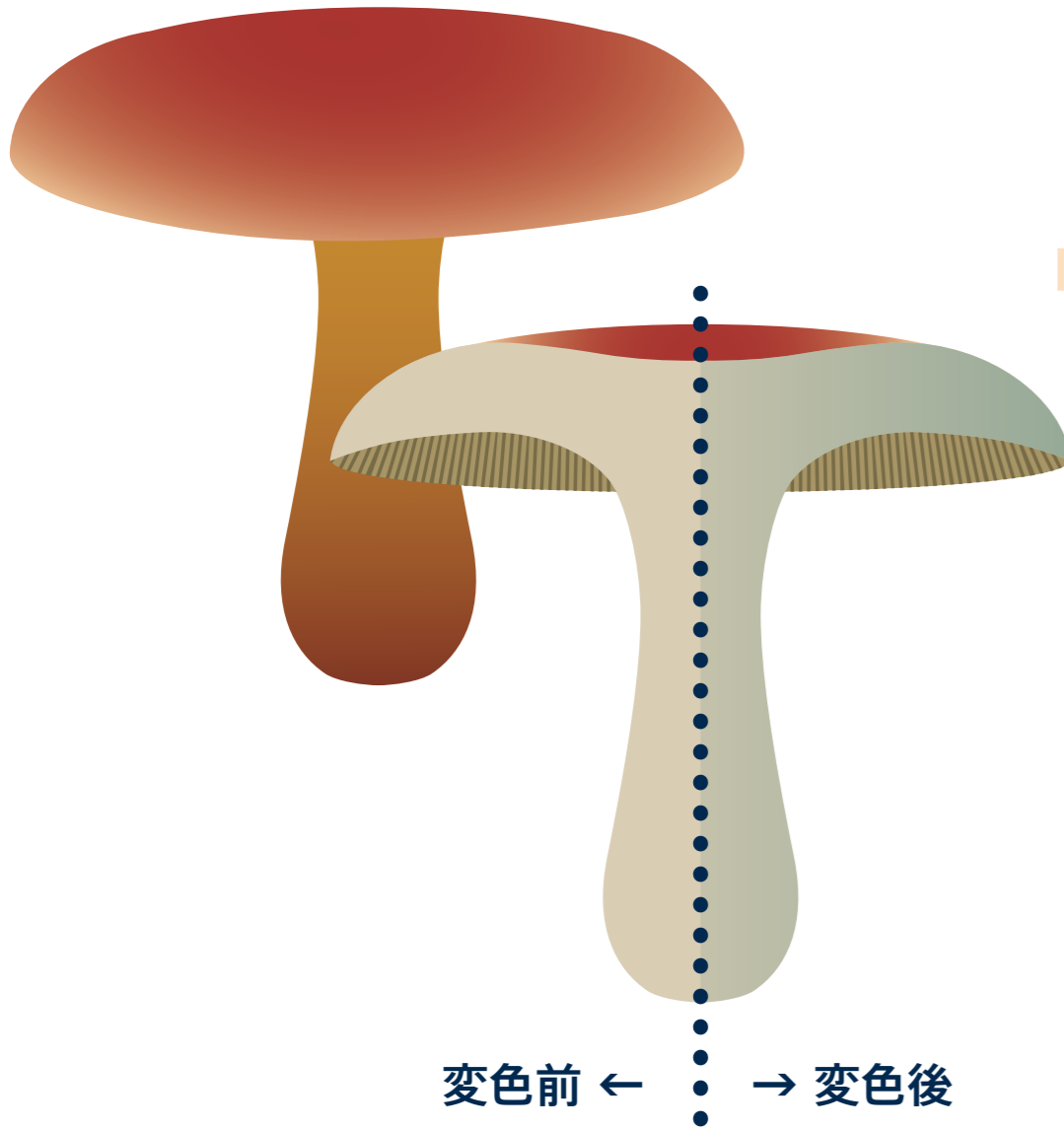
＼カメムシに寄生 / カメムシタケ

ハナサナギタケと同様、高尾山ではよく見られる冬虫夏草です。春~秋にカメムシから生えます。高さ3~10cm。



びっくり!

高尾山のすごいきのこ

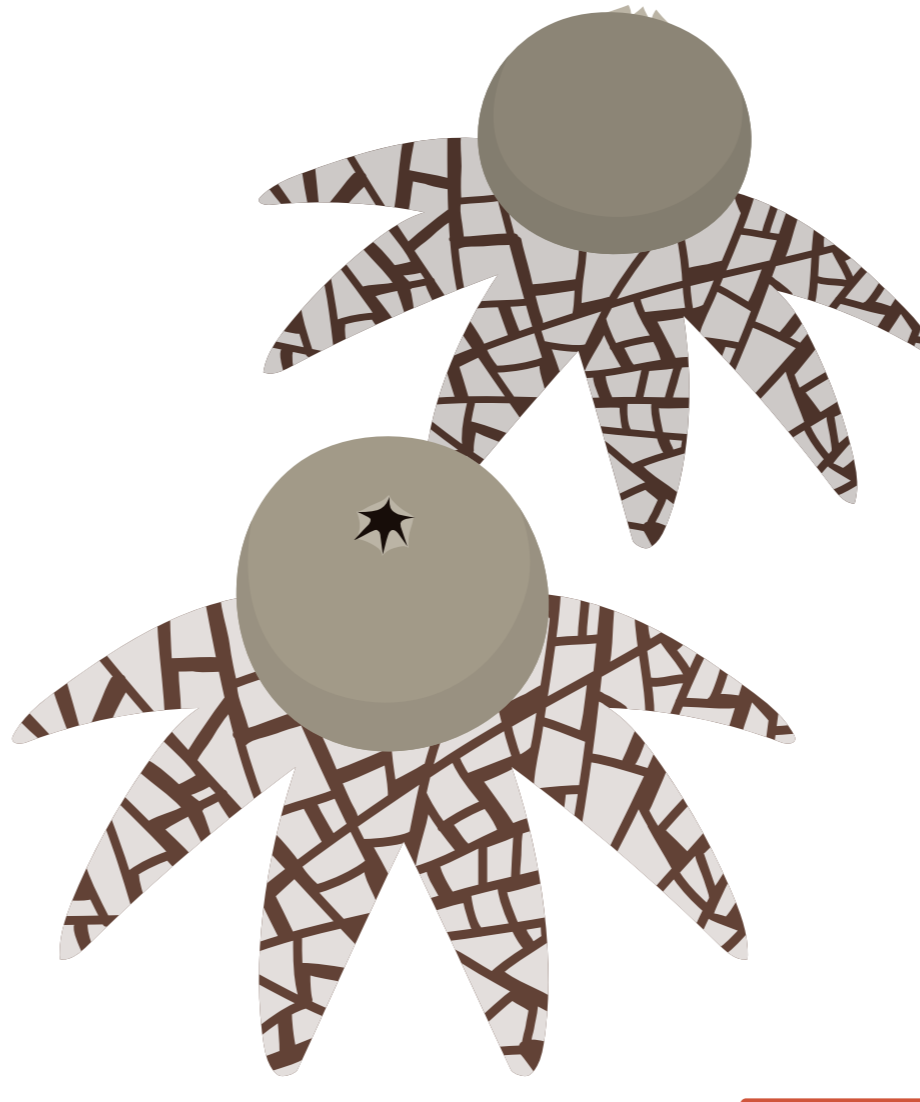


変色前 ← → 変色後

＼ 新種発見! in 高尾山 / ヒイロウラベニ イロガワリ

1988年に高尾山や陣場山で発見された標本をもとに新種として発表されたきのこ。傷つけると青白く色が変わります。

発生しやすい環境 広葉樹林内



ぱふっと胞子が 飛び出す ツチグリ

外からの刺激や湿度変化によって中心の穴から胞子を飛ばすきのこ。黒い皮が星のように開き、乾燥するとまた閉じます。

発生しやすい環境 針葉樹林、広葉樹林内

＼ さわるなキケン! / カエントケ

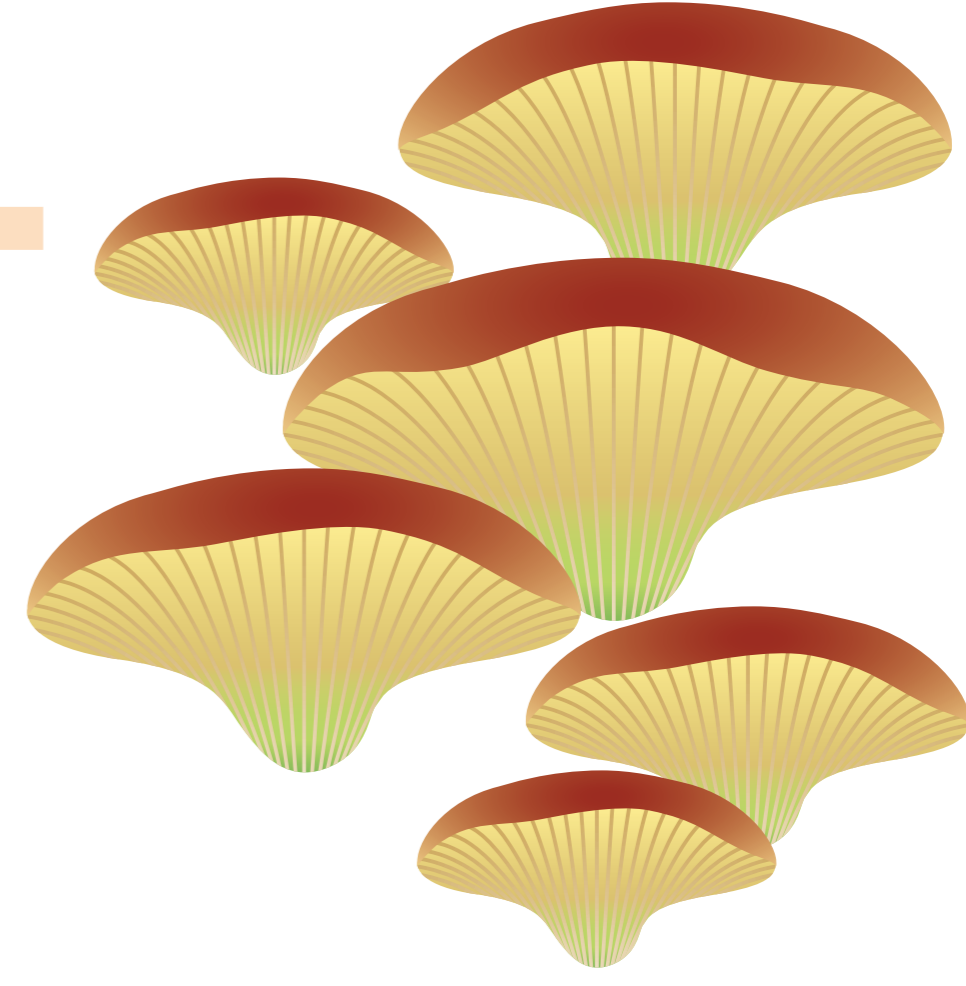
死亡例もある猛毒のきのこで、最近高尾山周辺で増えています。見つけても絶対にさわらないようにしましょう。



発生しやすい環境 ブナ科の林内、ナラ枯れした木の周辺

＼ 光るきのこの仲間 / ツキヨタケ

暗闇でひだの部分がほんのり光るきのこ。昼間も発光していますが、発光する理由については詳しくはわかっていません。



発生しやすい環境 ブナの枯れ木や倒木上

※光が微弱なため、夜でも肉眼で光る様子を見るのは難しい

きのこの大きさはどれくらい?

きのこの本体は菌糸です。きのこの周辺や真下などに白く菌糸が広がっていたり、なかには菌糸の束が見られる種類もあります。きのこは菌糸のほんの一部で、過去にアメリカで発見されたナラタケの仲間は、1個体の菌糸が9㎢ほど広がり、重さは500トン以上あることがわかりました。目に見えているきのこの下には、きのこ以上に大きな菌糸が広がっているのです。

ムラサキヤマンバ
きのこの周りには菌糸の束が見られます



高尾山でみられる 多様な樹木ときこのこ

きのこは樹木の種類によって発生する種類が変わります。
 さまざまなきのこが見られる理由の1つである高尾山の樹木に目を向けてみましょう。

樹木が多い理由

高尾山は冷温帯と暖温帯の2つの気候帯の境目に位置しています。南側の斜面には暖かい地域に生える常緑広葉樹林、北側の斜面には涼しい地域に生える落葉広葉樹林が広がっています。秋は樹木が紅葉するため、樹木の違いがわかりやすくなります。

1号路の男坂では常緑樹、女坂では落葉樹が生えている様子が見られます……………



樹木ときこのこの関係

高尾山は、古くから山岳信仰の場であると同時に現代まで森林が保護されてきた歴史から、天然林をはじめとした豊かな森林が今でも残されています。また、沢沿い、尾根沿い、雑木林といったさまざまな環境があることも植物の多様性を育む理由のひとつです。

【 高尾山内における樹木と発生するきのこの違い 】

場所	樹木の種類	きのこの種類
3号路などの南斜面	シラカシ、アカガシなどの常緑広葉樹	イグチ、テングタケの仲間
4号路などの北斜面	ブナ、イヌブナ、カエデなどの落葉広葉樹	ホウキタケの仲間、ツキヨタケなど
尾根沿いや中腹など	モミ、スギ、ヒノキなどの針葉樹	ウスタケ、キハツタケなど
山頂周辺など	クヌギ、コナラなどの林	ヒラタケ、チチタケなど

この木に注目！

ブナ科
ブナ

高尾山のブナは江戸時代頃の生き残りと言われています。ツキヨタケなどが生えます。



マツ科
モミ

高尾山の天然林を代表する樹木で、モミを好むウスタケなどのきのこが見られます。



気になる！

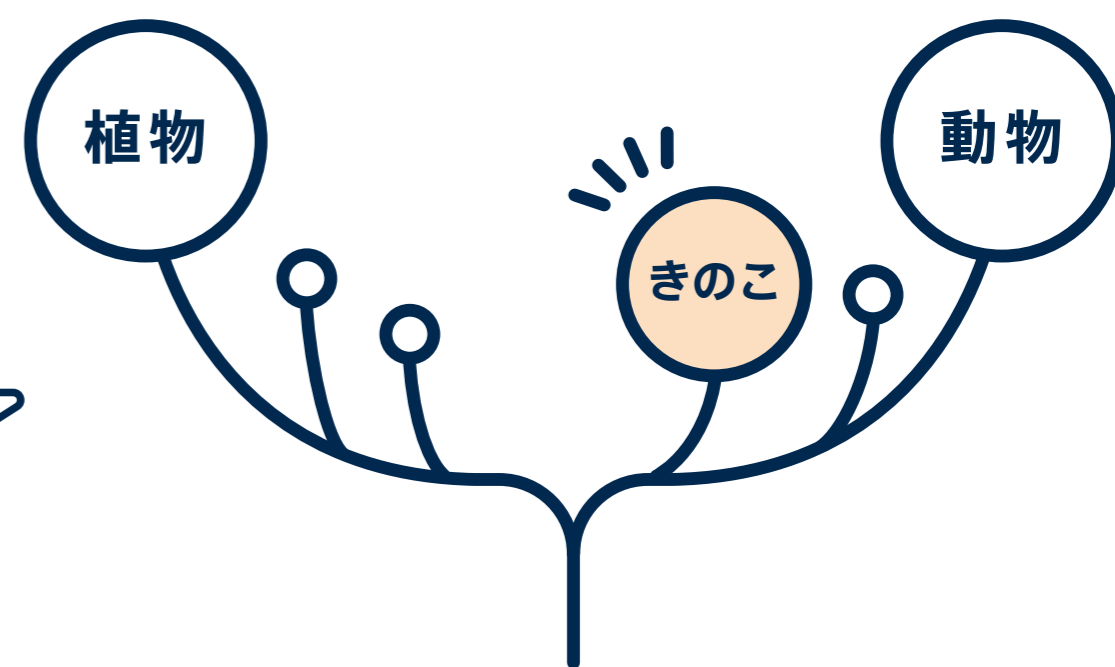
きのこQ&A

きのこにまつわる疑問を集めました！

Q. きのこは植物の仲間なの？

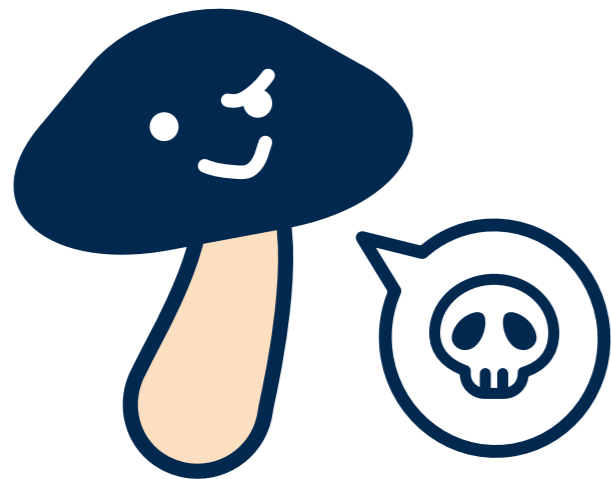
A. 植物ではなく、実は動物に近い生き物です！

生物の遺伝子を調べる研究により、きのこは動物の仲間に近いことがわかりました。地球上に存在する菌類の推定種数は220~1320万種とも言われていますが、世界中で種名のついている菌類は約15万6千種。まだまだ謎の多い世界です。



出典：神奈川県立生命の星・地球博物館, 特別展示解説書 かながわご当地菌類ガイドブック, (2023)

約200種類！



Q. 毒きのこはどれくらいあるの？

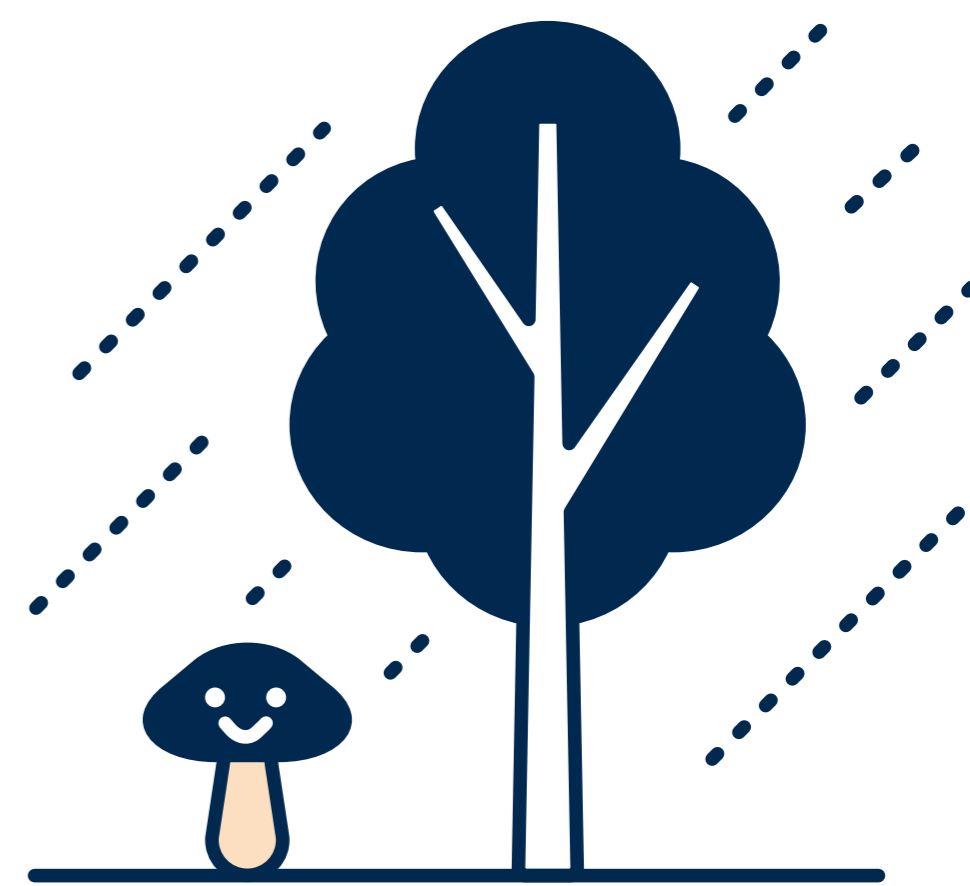
A. 種名があるものは約200種類、それ以外にも多数あります！

きのこの大半は毒があるか不明で、名前がついていない毒きのこもかなり多いと言われています。間違った鑑定をして食べてしまうことによる食中毒では、過去には死亡例が起きたこともあるため、毒きのこには注意しましょう。

Q. きのこがよく出るおすすめコースは？

A. 1号路、じんぺんやまえんち神変山園地、6号路がおすすめ！

適度に開けたゆるやかな斜面や明るくて下草の少ない場所を見つけやすいです。きのこが出やすいのは、ちょうどよい湿り気がある雨上がりの2~3日後。1号路だと、浄心門右側の木の階段を登った先にある神変山園地もおすすめです。



観察時の
お願い

- ・登山道から外れないように観察しましょう。
- ・きのこは子孫を残すための器官であると同時に、生き物たちの食べ物でもあります。採取はせずに、やさしく見守りましょう。

